事前課題２　ＳＶ課題記入シート

研修の２日目では、演習「体験で学ぶソーシャルワーク・スーパービジョン」を行います。演習では、受講者が提出した事例を活用して、スーパーバイザーだったら、ミクロからメゾ･マクロに至るスーパービジョンをどう取り扱うかをグループで話し合います。さらに、実際に、スーパービジョンを体験してもらいます（時間の制約もあり、すべての事例でスーパービジョン体験ができない場合もあります）。

* 研修１日目に**８部**（提出用２部、グループ配布用６部）印刷して持参してください。

（会場内にコピーできる場所はありませんので、必ず、事前に準備してください）

＜事前課題シートの記入について＞

○あなたが実践場面で悩んだ場面、困った場面の概要を８００字程度で記述してください。事例は、個別支援でも、組織での取り組み等でもかまいません。

（事例の取り扱いにいては、別紙「公益社団法人日本社会福祉士会正会員及び正会員に所属する社会福祉士が実践研究等において事例を取り扱う際のガイドライン（2003年4月19日制定、最終改正2014年4月1日）」を参照ください）

○事前課題１、２については、研修当日グループメンバーに配付し、1日目の宿題として自宅等に持ち帰り読み込みを行った上で、２日目の演習で使用します。（2日目の演習終了後、作成者本人が回収して下さい。）

　　※　事前課題１，２は個人及び事例の特定がなされないよう十分にご配慮ください。

　※　グループメンバーの事例の取扱いには十分お気を付けください。

○今回の研修では、できるだけミクロからメゾ・マクロの視点のソーシャルワークを意識したスーパービジョンになるような事例を選んでください。そのような事例が見当たらないという場合は、困った事例、ＳＶを受けたいと思う事例を記入してください。

○作成にあたっては、「記載例」を参考にしてください。

○必要に応じて適宜、書く欄を増やしてください。（複数枚になる場合は、左上をホチキスで留めてください）

事前課題２　ＳＶ課題記入シート

１．あなたが実践場面で悩んだ場面、困った場面で、ミクロからメゾ・マクロの視点が必要だと思う事例の概要を記述してください（最大８００字程度）。ミクロからメゾ・マクロの視点が必要かどうかわからない場合は、悩んでいること、困ったこと、ＳＶで取り上げてほしいと思う場面の記述してください。事例の概要は、個別支援でも、組織での取り組みでもかまいません。

|  |  |
| --- | --- |
| テーマ |  |
| 事例提供の理由 |  |
| ポジション |  |
| 事例の概要 | （最大８００字程度） |

２．事例について、①困った場面を抜き出し、②何に困ったのか、③なぜ困ったと思うのかについて記述してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ①　困った場面 | ②　何に困ったのか | ③　なぜ困ったのか |
|  |  |  |
|  |  |  |

３．上記の事例について、異なるシステムに働きかけるとしたら、どこに着目し、どのような働きかけをしたらいいですか？ミクロ、メゾ、マクロの視点で考えてください。

|  |
| --- |
|  |

記載例

事前課題２　ＳＶ課題記入シート

１．あなたが実践場面で悩んだ場面、困った場面で、ミクロからメゾ・マクロの視点が必要だと思う事例の概要を記述してください（最大８００字程度）。ミクロからメゾ・マクロの視点が必要かどうかわからない場合は、悩んでいること、困ったこと、ＳＶで取り上げてほしいと思う場面の記述してください。事例の概要は、個別支援でも、組織での取り組みでもかまいません。

|  |  |
| --- | --- |
| テーマ | 精神障がい者の社会的入院の解消 |
| 事例提供の理由 | 姉の不安に巻き込まれ、Hさんの支援が滞ることを問題として感じたため。 |
| ポジション | 相談支援事業所の相談支援専門員 |
| 事例の概要 | ○精神科で長期入院をしているH（男性、50歳）さんの退院に向けて支援を開始することについて、何度も面談や会議を行いようやく家族（姉夫婦）の了承を得ることができた。集団生活が苦手なHさんの意向もあり、退院後の住まいは賃貸住宅とした。  ○入院中から作業所に体験利用をしながら、私と住まい探しを行い、Hさんはいくつかの物件から、方角と間取りが気にいったと言い、姉から保証人になってもらうためには、作業所にきちんと通っているという実績をつもうとがんばっていた。  ○しかし、Hさんが体験利用している作業所近くのアパートの物件探しを始めたころから、姉が頻繁に私に電話をよこすようになり、Hさんの症状や、作業所での様子の問い合わせをもらうようになった。都度、退院支援の進捗状況を伝え、Hさんの症状再燃のリスクを軽減するような支援体制を退院後もとることを伝えていたが、退院に直接的な反対はしないものの、過去のエピソードを持ち出しては、弟の言動に不安を訴えた。  （４１９字） |

２．事例について、①困った場面を抜き出し、②何に困ったのか、③なぜ困ったと思うのかについて記述してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ①　困った場面 | ②　何に困ったのか | ③　なぜ困ったのか |
| 姉からの頻繁な電話 | 姉への対応 | 姉の真意が計りかねた為。Hさんへの支援より姉の対応に時間割をかれたため。 |
| 姉からの頻繁な電話 | 姉の不安が高いこと | 姉に保証人を引き受けてもらえないと退院に支障がでるため。 |

３．上記の事例について、異なるシステムに働きかけるとしたら、どこに着目し、どのような働きかけをしたらいいですか？ミクロ、メゾ、マクロの視点で考えてください。

|  |
| --- |
| ・事例は、ミクロの視点で家族システムにフォーカスしていたが、メゾレベルの視点で退院支援チームの編成と役割分担を考え、弟と姉の支援をわけて考えてみる。  ・保証人のなり手がいないと退院できないというのは権利侵害ではないか。マクロの視点をもち、精神障害者や身寄りのない人の保証人問題について地域課題として考えてみる。 |